



早稲田大学 (東京都)

自分の興味・レベルに合わせて総合的に日本語を学ぶことができる

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

早稲田大学は、大隈重信侯によって、近代日本の人材育成を目的として1882年に創立されました。創立当時は東京専門学校と称していましたが、1902年に早稲田大学になりました。

早稲田大学は創立以来、「学問の独立」「実用の教育」「模範的国民の養成」を教育方針とし、その教育方針は現在も早稲田大学の教育と研究の根本となっています。

本校は、2022年10月に創立140周年を迎えました。現在、13の学部、大学院の22研究科と附属機関等があります。専任教員約2,000人(2024年8月時点)、学生約50,000人(2024年5月時点)が所属しています。本学は、歴史と伝統、教育・研究の水準の高さ、卒業生の活躍などから、日本で有数の私立大学として評価されています。留学生の受け入れも、古くから積極的にすすめ、毎年、多くの留学生を受け入れており、現在では約5,500人(2024年5月時点)の留学生が学んでいます。

学部・研究科

学部：
政治経済学部、法学部、文化構想学部、文学部、教育学部、商学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、社会科学部、人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部

大学院：

政治学研究科、経済学研究科、法学研究科、文学研究科、教育学研究科、商学研究科、基幹理工学研究科、創造理工学研究科、先進理工学研究科、環境・エネルギー研究科、情報生産システム研究科、社会科学研究科、人間科学研究科、

スポーツ科学研究科、国際コミュニケーション研究科、アジア太平洋研究科、日本語教育研究科、法務研究科(法科大学院)、会計研究科(会計大学院)、教育学研究科高度教職実践専攻(教職大学院)、経営管理研究科(ビジネススクール)

② 国際交流の実績

大学間協定数 574 (2024年6月時点)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2024年：留学生数5,491人、
日研生(大使館推薦)10人(大学推薦)4人
2023年：留学生数5,549人、
日研生(大使館推薦)10人(大学推薦)9人
2022年：留学生数3,456人、
日研生(大使館推薦)9人(大学推薦)10人

④ 地域の特徴

早稲田大学は、東京の中心にあり、交通の便がよく食事や買い物にもとても便利な場所にあります。大学近くの駅周辺や早稲田通り沿いは商業の拠点で、活気のある街です。また、古くから学生の街としての歴史があり若者が多く集まります。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

日本語教育プログラムは、早稲田大学日本語教育研究センターが運営している1年間または半年間の日本語集中学習プログラムです。

様々なニーズを持つ学生の自己実現を助けるために、それぞれの学生の日本語能力に合わせて8段階のレベルに分かれています。学生はそれぞれのレベルにあわせて日本語を学ぶことができます。

科目は、総合的に日本語の基礎的な能力向上を目指す科目と、日本文化や日本社会などのテーマを勉強する科目があります。学生は、自分の学習目的や目標にあったカリキュラムを自由にデザインできるようになっています。

日本語教育研究センターでは、留学生が自律的に日本語学習ができるように「わせだ日本語サポート」という学習支援室を設けています。1対1でセッションを行っており、学習計画の相談や、日本語に関する質問、学習リソースの質問などができます。このほか、「日本語学習ポートフォリオ」も用意しております。学習目標やスケジュールをポートフォリオに書いて振り返ることで、計画的に自分の日本語学習が進められます。

③ 受入定員

20名(大使館推薦10名、大学推薦10名)

④ 受講希望者の資格、条件等

1. 早稲田大学と協定のある大学・大学院に在籍している者で、留学終了まで本属大学に在籍すること。（大学推薦のみ）
2. 成績優秀な者。日本語科目だけでなく、他科目の成績も選考の際に考慮される。
3. 日本語学習への意欲が高い者。

⑤ 達成目標

修了単位である26単位を修得すること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2025年10月上旬 ～ 2026年7月下旬
（在籍期間：2025年9月21日～2026年9月15日）

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月 ～ 2026年7月

⑧ 研修・年間スケジュール

- 9月中旬： 渡日
9月下旬： 秋学期科目登録開始
10月上旬： 秋学期授業開始
11月上旬： 早稲田祭（文化祭）
1月下旬： 秋学期授業終了
2月下旬： 秋学期成績発表
3月中旬： 春学期科目登録開始
4月上旬： 春学期授業開始
7月下旬： 春学期授業終了
7月下旬～： 帰国
8月下旬： 春学期成績発表

本学の学生交流プログラムを企画・運営しているICC（異文化交流センター）主催の活動に参加したり、早稲田大学の学生サークル等に参加して、日本人学生や地域の人々と交流することができます。

※ICCの活動はこちらのサイトを参照してください
<https://www.waseda.jp/inst/icc/>

⑨ コースの修了要件

年間26単位（原則として各学期13単位）以上の日本語科目を履修し、合格の成績を取得した者を修了者とみなし、修了証書を授与します。成績証明書については、申し込みをした方に発行します。
単位認定が必要な場合は、予めご自身で所属大学に確認してください。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

日本語教育研究センターの日本語授業には、総合日本語、テーマ科目があります。また、科目は初級の1レベルから超上級の8レベルまであり、自分の興味やレベルに合わせて日本語を学ぶことができます。

- ・ 年間26単位（半期13単位）修得できるように自分で時間割を組みます。
- ・ 各科目は週あたりの授業回数によって与えられる単位数が異なります。授業は各学期14週行われます。
- ・ 日本語教育研究センター設置科目は、原則として各学期週1回100分の授業で1単位が与えられます。
- ・ 授業は全て日本語で行われます。

2) 研修・コース開設科目

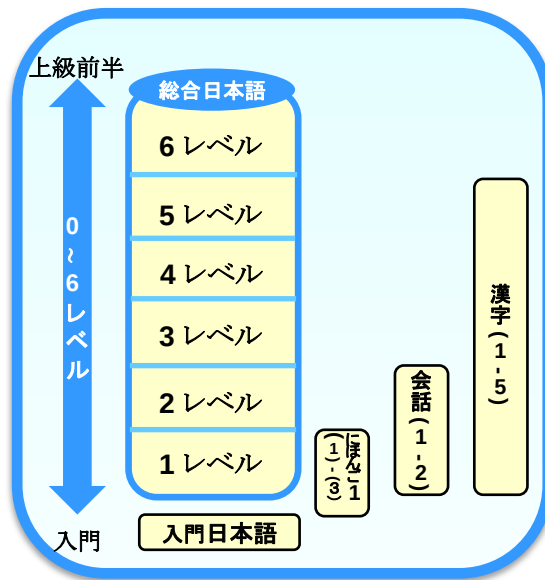
I) 必須科目

必須科目はありません。必要単位数を修得できるように自分で時間割を組みます。

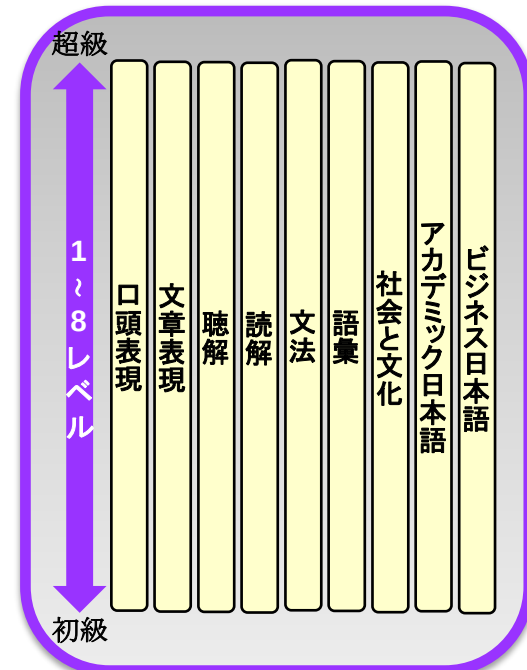
II) 選択科目（13コマ、約21.7時間/週あたり）

総合科目群もしくは、テーマ科目群から修了要件を満たすよう年間26単位（半期13単位）修得できるよう選択することが可能です。

総合科目群



テーマ科目群



3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

- ・日本社会や文化についての理解を深めるため、学内外の施設を訪問、見学する科目もあります(テーマ科目)。また、本学の学生が日本語授業ボランティアとして活躍しているクラスも多数あり、授業の中でも本学学生と交流することができます。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

- ・日本人学生が日本語学習ボランティアとして、いくつかの日本語科目において、留学生の日本語学習をサポートします。
- ・希望者は日本人学生を対象としている他学部で開講されている授業を履修することもできます。(制限あり)
※他学部の科目を履修して修得した単位は修了要件には含まれません。

⑪ 指導体制

【所長】

柳田 直美 教授

【教務主任】

寅丸 真澄 教授
木下 直子 准教授

教授	1名
教授(任期付)	1名
准教授	1名
准教授(任期付)	10名
助教	2名
非常勤講師	41名
インストラクター(非常勤)	115名

■宿 舎

(大使館推薦)

大学を通じ寮を紹介します(渡日前の宿舍費の支払あり。入館費用として約200,000円、海外送金にて必要)※物件によって異なります。

(大学推薦)

早稲田大学留学生寮を紹介します(渡日前の宿舍費の支払なし。ただし、留学生寮以外の宿舍滞在となる場合、渡日前の宿舍費の支払あり)。留学生寮は希望者多数の場合抽選となり、選外の場合は提携寮等他の滞在先を紹介しています。

■修了生へのフォローアップ

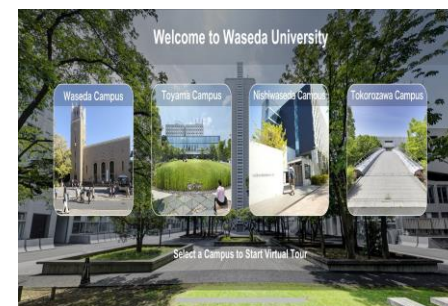
日本語教育プログラム修了後の進路

- ・母国等(日本以外の国)の在籍大学に戻る
- ・母国等(日本以外の国)で就職
- ・日本の大学・大学院に進学
- ・日本で就職

就職活動において、本学のキャリアセンターを利用することができます。

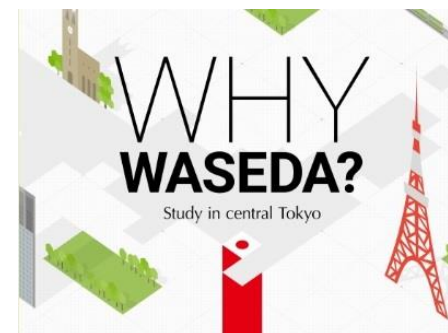
■その他

VRキャンパスツアー



<https://www.waseda.jp/top/about/work/campus-tours>

WHY WASEDA?



<https://www.waseda.jp/inst/whywaseda/>

■問合せ先

早稲田大学 日本語教育研究センター

住所: 〒169-8050

東京都新宿区西早稲田1-7-14

TEL: 03-3208-0477

FAX: 03-3203-7672

E-mail: cjl-ao@list.waseda.jp

URL: <https://www.waseda.jp/inst/cjl/>

早稲田大学留学センターホームページ

URL: <https://www.waseda.jp/inst/cie/>

